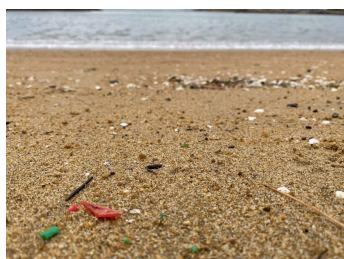


マイクロプラスチックの生物への影響



【マイクロプラスチックについて】

マイクロプラスチックとは...
歯磨き粉や洗顔剤に含まれるビーズなどの小さなプラスチック
またはレジ袋やペットボトルといったプラスチックごみが
紫外線や波によって5mm以下まで細かくなったもの。
海ごみは、その約8割が国内および国外の陸上でポイ捨てや
不法投棄されることで流れ出たごみであることが分かっている。

【マイクロプラスチックの問題点】

- ①回収が困難
- ②海洋生態系への悪影響
- ③健康への悪影響
- ④海洋産業等への経済的な悪影響



【海洋生態系への悪影響】

マイクロプラスチックは海洋生態系にも影響を与える。
海洋生物が餌と間違えて食べることで、内臓を傷つけ
あるいは腸閉塞を起こして死んでしまう場合がある。
微細化したプラスチック片は、生物にとって取り込みが
いっそう容易になる。

マイクロプラスチックは動物プランクトンにも摂取され、食物連鎖を通じて
有害な化学物質が蓄積されて生態系全体に汚染が拡大する可能性が大きくなっている。
プランクトンに取り込まれたマイクロプラスチックは、二枚貝や小魚が摂食してしまう。

【私達ができること】

①プラスチックごみの発生を抑制する

買い物に行くときはマイバッグを持っていき、ビニール袋をもらわないようにしたり
プラスチックストローは使用しないなど、プラスチックごみの発生抑制を心がけよう。
スーパー等で行われるプラスチックトレイなどの資源回収に協力するのも有効である。

②ごみは必ず持ち帰る

ペットボトルの空き容器や、レジャー施設での釣り・キャンプ道具等は
ポイ捨て・不法投棄せずに持ち帰ろう。

③河川や海岸の清掃活動に参加する

地方公共団体、民間団体等によって河川や海岸の清掃活動が行われています。
こうした活動に参加して、環境をきれいにしよう！

まとめ

マイクロプラスチックは海洋生物だけでなく、人々にもいろん
な影響を与えている。だから、マイクロプラスチックを減らす
ためにゴミ拾いや、清掃活動に積極的に取り組もう！